

活動日誌

する。全国的にも民生委員の成り手が少なくなり、任期が長くなる傾向がある。その原因の一つが、活動内容が分

り、自分にはハードルが高くとも受けられないと感じることだ。民生児童委員が地域の最前線で活動しているにもかかわらず、あまり理解を

(町長)海士町内の介護施設のうち、特に社会福祉法人あま福祉会が運営する諏訪苑の介護人材確保のため、本年度は

てもらうため、6月11日(土)にお台場からの船上パーティー ANA Oyster Cruise (海士オイスタークルーズ)を開催した。160名の参加があり、本町のプロモーションビデオや写真パネル、トークと音楽、もちろんキン・ヤモ・ヤ踊りも交えたPRができた。

このイベントの目的は、全国の介護人材に海士町を知ってもらうことだ。参加者はもちろん、この参加者のSNSでの発信で、海士町の認知度は確実に上がっているが、直接人材確保ということにはまだ繋がっていない。これからの広がりに期待をしているところだ。

また今後は、施設自ら、施設としての将来・経営ということも観点におきながら、具体的な提案があっても良いのではないかと思う。

民生児童委員の活動内容の周知については、行政の周知ももちろんだが、それぞれの区に民生児童委員がいるので、区全体の問題、区民みんなの問題として、今後考えることが肝要だ。

9 月

- 監査委員決算審査
隠岐広域連合定例議会
議会活性化特別委員会
議会運営委員会
国保運営協議会
総務厚生常任委員会
産業建設常任委員会
例月現金出納検査
決算審査報告会
全員協議会
秋の交通安全テント村
全隠岐グラウンドゴルフ大会
海士町議会9月定例会
農業委員会

10 月

- 島根県町村議会議員研修
海士町議会議員研修
隠岐神社秋季大祭
第18回松江海士後鳥羽会
平成28年度定期監査
全国離島振興市町村議会
議長会理事會
例月現金出納検査
海士町議会10月臨時会
隠岐広域連合常任委員会
雲南病院視察研修

島根県町村議会議員研修会の講演メモ

編集後記

日本は人口減少社会に突入し、経済は縮小していくが、今後、爆発的に増えていくものが3つある。それは、①シニア ②ペット ③外国人

地方創生には、地域資源の整理と活用が重要だ。大量生産・大量消費の時代は、「いつでも、どこでも、いくらでも」が求められていたが、これからは、「いましか、ここしか、これしか」が個性となり、地域の強みとなる。「3つのしか」

(株)地域事業再生パートナーズ
代表取締役 今若 明氏

朝晩の冷え込みが急にやっけてきて、昨日までは冷房、でも今日はもう暖房と、一気に秋を肌で感じる季節となりました。この不安定な天気も地球温暖化によるものなのではないでしょうか？

稲作は天候にも恵まれ、今年は今までにない豊作で品質も良く、味も良く、大変好評のようです。また今年から始まった農家の有志の皆さんに

(扇谷光恵 記)

待をしている。  
オール海士でやってきたお蔭で、昨年の国勢調査も、マイナス21人に止まり、島根県では一番減少率が低かった。

今年の参議院選挙でも選挙人名簿でプラスになったのが、出雲市と松江市と海士町だけだった。これも今まで取り組んできたことのトータルの結果だ。

問 指定管理施設を評価する委員を。

答 将来は兎も角、今は考えはない。

正に管理されているのか、また管理運営委託料が町民サービスに見合っているのか。一回指定管理に出したら、言いたいことが言えないような状況があるのではないか。その対策として、指定管理を検証するための行政、外部有識者で組織する評価委員会を設置すべきだと考えるが。

問 介護人材の確保等について。

答 海士をまず知ってもらうこと。

行うものではなく、当然議会の議決を経るので、議会の皆さんからその都度ご意見はいただいている。評価委員会を今作らなくても、公平性や透明性は確保できていると考えている。

また、現在海士町は陳情ゼ口で、住民と行政の距離は非常に近いと考えており、ニーズも把握しているつもりだ。ただ将来の問題としては、評価委員による評価も大事な視点だと思う。

(問) 平成15年9月の地方自治法の一部改正に伴い、公の施設の管理について指定管理者制度が導入された。公の施設をより効果的効率的に管理するため、その管理に民間の能力を活用するとともに適正に管理する仕組みを確保し、住民サービスの向上や経費の節減を図ることを目的としていた。本町でも平成17年3月に、海士町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例が施行された。指定管理施設は現在26ある。条例施行後10年経過した指定管理者制度について、2点質問する。



扇谷光恵 議員

1点目は、制度導入後、業務報告の聴取、事業報告書の作成及び提出等、この条例に定める各条項は適正に処理されているか。

2点目は、指定管理者制度の趣旨である町民サービスの向上等が図られているのか、税金を投入した町有財産が適

(町長) 監査委員が毎年度、指定管理者の業務報告等の監査をしており、適正に処理されているという報告を受けている。事業報告書や決算書は必ず出ているので、安心してほしい。  
もう1点、評価委員だが、評価委員は現在設置していないし、今のところ設置する考えはない。

海士町の公共施設は官設民営の方式がほとんどで、施設は行政が作って、それを委託するという方式になっている。本町のような小さな自治体では、委託する相手方も少なく、行政は十分承知をしている。また指定管理者の指定については、行政が勝手に

(問) 介護人材の確保のため、様々な情報を駆使して、全国的な福祉業界との交流や福祉養成校との連携、学生の島体験など、海士町の魅力を伝えながら取り組んでいるが、その手ごたえについて問う。

また、マルチワーカーという言葉を聞いたが、介護人材についてもそういった発想ができないか。例えば、週に3日介護の仕事をし、残りは集落支援員の仕事をするとか、食の寺子屋で勉強するとか。そういった働き方ができるか。人材確保に繋がるのではないか。



杵築泰久 議員

2点目は、介護や福祉の入所施設が常に満床という状態に、不安を感じる人も少なくないと思うが、増床や効率的な運営について、何か考えがあるか。

3点目に、民生児童委員の活動周知について、どう対応